

1 観光振興ビジョン策定の目的等

- (1) **策定目的** 本地域の観光の「めざす姿」を地域で共有するとともに、その実現に向けて多様な主体が連携し、ともに取り組みを進めて行くため観光ビジョンを策定する。
- (2) **位置づけ** 福島県の最上位計画である「福島県総合計画」の「地域別の主要施策」の個別計画として位置づける。
- (3) **計画期間** 令和5年度(2023年度)から令和12年度(2030年度)までの8年間

2 本地域の観光の状況

- (1) **観光客入込数等の状況**
 - 観光客入込数は、H25年(3,271千人)をピークに8年連続で減少。R4年は2,074千人となり、新型コロナウイルス拡大前(R元年)の約76%となった。
 - 延べ宿泊者数は、H27年(207千人)をピークに減少傾向。R4年は117千人となり、新型コロナウイルス拡大前(R元年)の約85%となった。
- (2) **その他の観光状況(R4年度)**
 - 旅行満足度は70.9%(方部別上位3番目)。観光地等認知度は20.0%(方部別上位5番目)にとどまる。
 - 本地域を観光先として選んだ理由としては、「自然景観・紅葉を楽しむため」「温泉を楽しむため」「観光名所を楽しむため」の順に上位。

3 SWOT分析による本地域観光の「強み」と「弱み」

	強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)
内部要因	<ul style="list-style-type: none"> 豊富な自然環境 日本遺産や歴史的景観保存 郷土料理や伝統文化等、歴史的資源 農林業を中心とした特産品 自然等を活用したアクティビティ JR只見線の全線運転再開 浅草駅から会津田島駅に直結する東武鉄道等 教育旅行のワンストップ窓口 地域に根付くおもてなし、心づかい 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行ニーズ等把握のためのデータ収集、分析が不十分 地域資源の活用や連携が不十分 国内外への情報発信が弱く、観光地としての認知度が低い 施設の老朽化、脆弱な二次交通など、受入環境整備が不十分 観光関連産業等の担い手不足など、受入体制が不十分
外部要因	<ul style="list-style-type: none"> 機会 (Opportunities) 情報通信技術 (ICT) の進展 旅行目的、旅行ニーズの多様化、新たなツーリズムの展開 旅行形態の変化 (個人旅行の増加) 新型コロナウイルスの5類移行に伴う国内旅行需要、外国人旅行者の増加 道路整備に伴う、広域的な連携・交流 地方移住、田舎暮らしへの関心の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> 脅威 (Threats) 人口減少等による国内旅行市場の縮小 人口減少等による観光担い手の更なる減少 新型コロナウイルスなどの社会変化による旅行の制約・意欲の減退 自然災害等の発生の可能性 無秩序な開発等による自然景観の阻害や破壊

4 本地域観光の課題

現状、SWOT分析等により課題を整理。

- 《課題1》多様化する旅行ニーズ等の把握
- 《課題2》地域住民による観光振興
- 《課題3》地域資源の掘り起こし及び磨き上げ
- 《課題4》情報発信の強化
- 《課題5》受入体制の整備

5 めざす姿

旅先として選ばれる、南会津
～旅行・観光による持続可能な地域の形成～

- 強みとなる観光資源を活用するとともに、地域資源を掘り起こし・磨き上げを進めるほか、旅行コンテンツをテーマやストーリーに沿って掛け合わせ、本地域の魅力を体験できる「南会津旅」を創造。
⇒ 旅行者の増加、滞在時間の延長、旅行消費額の増加
- 地域住民が旅行者との交流を通して、地域の魅力や価値を再認識し、**地域への誇りや愛着を醸成**

↓

旅行・観光による地域への好循環を創出
多様な主体が「稼ぐ」ことができる持続可能な地域の形成

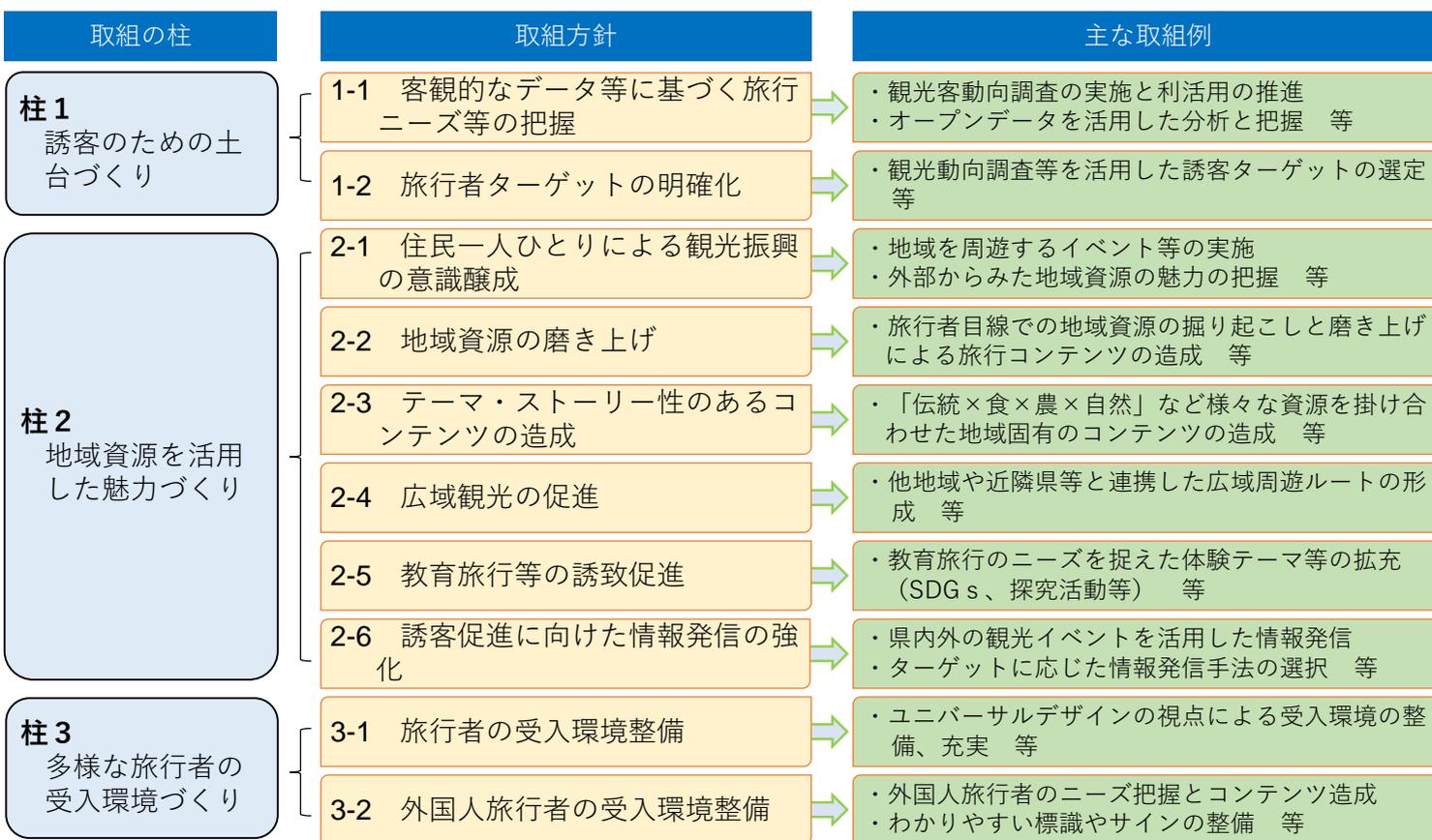
6 数値目標

計画期間の達成目標として3つを掲げ、本ビジョンを推進する。

指標	現況値	目標値
①観光客入込数	(R4年) 2,074千人	(R12年) 2,860千人
②旅行満足度	(R4年度) 70.9%	(R12年度) 80.0%
③観光地等認知度	(R4年度) 20.0%	(R12年度) 30.0%

7 取組の柱、取組方針及び主な取組例

本ビジョンのめざす姿の実現に向けて、3つの柱、10の方針により取組を推進する。



8 本ビジョンの推進

- 地域住民・事業者・行政・観光関連団体など、**多様な主体がそれぞれの役割を担い、連携・協働しながら取組を進める。**
- 目標値の**進行管理**及び各主体によるPDCAマネジメントサイクルの**継続的な検証**により取組の質の向上を図る。

